

東京都予防のための子供の死亡検証（CDR）関係機関連絡調整会議
議事要旨

1. 会議概要

- (1) 開催日時 令和7年3月5日（水曜日）10時30分から正午まで
- (2) 開催方法 対面及びオンライン会議

2. 議事内容

【事務局説明】

議事2の令和6年度東京都予防のための子供の死亡検証（CDR）多機関検証ワーキンググループ検証結果報告について（資料2）

- ・ 令和6年度は、人口動態調査等の非公表データ及び死亡小票の写しから、都内の子供の死亡に関する全体の傾向等の把握を実施した。また、協力医療機関から遺族同意が取得できた事例について関係機関から情報を収集し個別事例の検証を実施した。
- ・ 今年度、事業を実施してわかった課題やワーキンググループでの議論から導き出された課題、次年度の方向性を記載した。

議事3その他の検証制度等に関する情報提供について（資料3、4、5）

- ・ 認可外保育施設での誤嚥による死亡事故について検証委員会を立ち上げ、提言として取りまとめた。
- ・ 子供政策連携室では、「子供を事故から守る環境づくり」として、子供の事故情報データベースの構築やセーフティ・レビュー事業、子供の事故予防に関する普及啓発等に取り組んでいる。
- ・ 「東京都自殺総合対策計画～こころといのちのサポートプラン～（第2次）」では6つの重点項目の1つとして若年層の自殺防止を掲げ、具体的な事業を実施している。

議事4の令和7年度の予定について（資料6）

- ・ 令和7年度は関係機関連絡調整会議を1回、多機関検証ワーキンググループを3回程度開催する予定である。

【主な意見交換等】

- ・ 資料2の「人口動態調査に解剖結果等が十分反映されていない可能性」について、死亡小票の段階では解剖結果は反映されていないため、どうしても死因が不詳という状態となる。1年後の人口動態調査では、死因が反映された情報が収集できる。
- ・ 資料3について、しっかりと検証されたうえで具体策がしっかりと検討されていると思った。CDRの検証では家庭環境などの背景にも踏み込める可能性がある。
- ・ 資料4について、各部局・関係機関との連携が大変よくできていると思う。
- ・ 資料5の「こころといのちのサポートネット」についても非常に素晴らしい取組。ほかの部局とも連携するとより良い効果が出てくると思う。